

R.I.会長 RON D. BURTON

ロータリーを
実践し

みんなに
豊かな人生を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
 幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1438回例会

職業奉仕月間・米山月間

平成25年10月17日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 64名

出席計算数

58名中48名出席

出席率 82・76%

前及前回出席率 87・72%

例会プログラム

★14・15年度派遣青少年

交換学生候補生挨拶

★吉田(明)米山記念奨学拍立副委員長

・米山月間・R財団月間

寄付のお願い

★堀江30周年実行委員長

・猿投の森つくりの会

法人会委員アのご案内

・OSU山桜フィールド

秋の大須ロータリーデー案内

・ネパールの子供達への

支援品提供のお願い

★照井30周年実行委員長

・30周年記録誌

★春日井職業奉仕委員長

・チャリティラン参加のお願い

★卓話

ロータリーング

「我等の生業」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

派遣青少年交換学生候補生

伊藤 彩香さん

彩香さんお母様 伊藤 美香さん

インター

名古屋RC 中北 智久さん

名古屋千種RC 樫尾 富三さん

ニコボックス

伊藤彩香さん、お母様、ようこそ

お越し頂きました。木村 光徳

伊藤彩香さん、名古屋大須RRCへ

ようこそ。渡辺 観永

伊藤彩香さん、いらっしやい。高木 政義

R財団・米山奨学委員会より、吉

田隆彦さん本日よろしくお願

います。吉田 明夫・吉田 憲一

米山記念奨学生生勉強をさせて

いただきます。吉田 隆彦

いよいよ30周年事業も近づきま

した。宜しくお願います。堀江 英弥

「大須大道町人祭」が19日20日

と開催されます。一度ご覧下さい！

岡部 快圓

お久しぶりです。小笠原和俊

久しぶりです。休んでばかりでこ

めんなさい。杉本 英夫

岡村さん、ありがとうございます

柴岡 正将

会長挨拶

会長 木村 光徳

今月の10日から12日までネパ

ールへ行って来ましたので、再び

ネパールのホットな情報と感想に

ついて、お話しをさせていただきます。

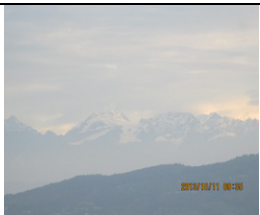
まずは印象について、簡単に言



う、「無秩序」
 ・混沌・「埃」
 ・「喧噪」・「素晴
 らしい山並」
 ・「親切」・「親日」
 といった感じで
 した。粗末な空
 港そして出口に
 群がる出迎えの
 大群・タクシー
 ・ガイド。街の
 中心から少し離
 れると舗装は有
 ってもデコボコ
 の道路。柱梁だ
 けが細い鉄筋コ
 ンクリートで壁
 はレンガの3、
 4階の建物、初
 日に感じた事
 です。



到着日にイン
 ターネット交流会で使用する通信
 機器・子供服を協力者の筋田氏に
 引き渡し、事業の打ち合せを済ま
 せ、筋田氏が所有・居住している
 銀杏旅館に泊まりました。



2日目は、タウンタワンのタメ
 ル地区と世界遺産のダルバール広
 場の見物に行きました。

タメル地区は道中5、6mの道
 路が複雑に交差し道路が直線でない
 ことや、道路標識が全く無く、ま
 た建物や商店も同じ様な景色で、
 地図を持っていても、自分がどこ

に居るのが全く見当がつかない、
 まさに魔窟と言っても言い過ぎで
 はない様な場所でした。偶然ネパ
 ールで最大のお祭りであるタサイ
 ンと重なった為も有ったのだと思
 いますが、狭い道路に車とバイク
 と人が入り乱れ、2時間程歩いた
 だけで、すっかり疲れ切っていました。

ダルバール広場は外国人だけ
 50ルピーの入場料が要りますが、
 最もネパールらしいイメージの広
 場で沢山のヒンズー教のお寺やモ
 ニュメント・生き仏のクマリの館
 等が有りました。

ネパールの人々は観光が主産業
 の為だと思いますが、大変親切で
 まだODAやその他日本からの援
 助が多い事も知っているので、親
 日的でもあります。商店やタクシ
 ーの最初の言い値も他の後進国に
 比べ、そんなに酷くはありません。
 泥棒はいると思いますが、身の危
 険を感じる事はありませんでした。



「米山記念奨学金」

R財団米山奨学金委員

吉田 隆彦さん

戦後、「日本の生き道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々からひとりでも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ日本ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」という理念のもと、1962年に東京ロータリーの「米山梅吉」さんの立案で「米山基金」がはじまり、年間約700人、今までの累計で1万7,500人を超える奨学生を支援してきています。

ロータリークラブにはいろんな奨学金制度があります。ロータリー財団の世界平和フェロー、ロータリー財団奨学生、長期青少年交換学生がありますが、ロータリー米山奨学生はこれらとは異なり、日本独自の在日外国人留学生の支援を行うもので、日本人留学生の派遣はありません。

奨学生一人に「世話クラブ」が選ばれ、さらに委員の中から「カウンセラー」が選ばれて、日常の相談役となり、安心



「カウンセラー」が選ばれて、日常の相談役となり、安心

して留学生生活を送れるよう配慮しています。我がクラブも発足以来、延べで13名の米山記念奨学生を受け入れてきました。それぞれの奨学生の「カウンセラー」に敬意を表します。中国、韓国、台湾が多く、費用を「米山の寄付金」で賄っています。

12・13年度の寄付金収入は13億2,500万円で、普通寄付金(日本)の全ロータリアンからの定期寄付(と特別寄付(任意寄付、米山功労者)からなり、税制上の優遇措置

米山奨学生	期間	出身地	大学	課程	会長	加わり-
1 雀 英俊	1986~	3年	韓国	名古屋大学 学部	天野道造	天野道造
2 金 松美	1990~	1年	韓国	名古屋大学 博士	松岡浩一	白石栄一
3 柯 隆	1992~	2年	中国	名古屋大学 修士	山田邦彦	浅野 彰
4 嘉木楊凱朝	1995~	2年	内モンゴ	愛知学院 修士	佐竹喜代一	岡部快園
5 雀 英俊	1996~	2ヶ月	名古屋大学 博士	横内 恭	神田 憲	
6 鄭・スウエン	1997~	2年	台湾	名古屋大学 修士	平田節也	山田邦彦
7 陳・ヤニ	1999~	1年	中国	名古屋大学 医学部	小笠原和俊	横内 恭
8 韓 三澤	2000~	1年	韓国	名古屋大学 修士	福與恵俊	伊藤清次
9 金 慶美	2002~	2年	韓国	名古屋大学 博士	横井 衛	山田邦彦
10 ヱフソルアソチヤイ グンティダ-	2005~	2年	タイ	南山大学 修士	草野勝彦	山田邦彦
11 徐 冬梅	2008~	1年	中国	名古屋大学 修士	小澤幸男	新沼 操
12 ケソ・ダソチ	2010~	1年	ベトナム	名工大 修士	岩崎征一	松本哲朗
13 周・い	2012~	1年	中国	名古屋大学 学部	鬼頭茂成	岩崎征一

があります。今後も、多くの奨学生を受け入れるためにも、皆さんのご協力をお願いいたします。

派遣青少年交換学生候補生挨拶

伊藤 彩香

皆さん、こんにちは。伊藤 彩香と申します。私は、バ



トントワリングと英語、自然が大好きな愛知淑徳中学の三年生です。皆さん、バトントワリングってご存知ですか？バトントワリングとは、音楽に乗ってダンスや行進などをしながら、バトンを回転させたり投げたりして演技の構成や美しさを競う競技です。私がバトント部に入ったきっかけは、新入生歓迎会の時に見た先輩方の演技でした。とても素敵に踊っている先輩方を見たとき、私もこんな風に踊ってみたいと思い入部しました。淑徳バトント部は、とても厳しいです。しかしその厳しい2年半の部活動で、目標に向かって努力することの重要性や友人の大切さを学ぶことができました。今では中学最高学年として後輩を指導し、全国大会一位を目指して日々練習に励んでいます。

また、私は英語が大好きで積極的に英語の勉強をしています。今年の夏休みには、英語のサマーキャンプに参加し改めて英語で話すということの楽しさを学びました。実力としては、まだまだ流暢に話すことはできませんが、単純に2つの言葉を話すことができれば、自分の世界も2倍になると考えています。将来はいろんな国の友人を作りたいと思っています。

私は、世界遺産や豊かな自然といった他では見られないような世界で一つだけの場所に行くことが好きです。そこにはかないものを体験することで感受性が豊かになり自分が成長できると思うからです。そのため毎年、学校行事である夏山登山に参加し、自然や美しい景色を体感しています。登山は重い荷物を背負って長時間歩くので、とても大変です。しかし、それにまさる貴重な経験をj得ていると思っています。

私がこの青少年交換プログラム派遣候補生に応募させていただいた理由は、留学先でその国の文化や習慣などを学び、理解し、経験を広げることによって自分を成長させたからです。

また、留学はたくさんの方の外国人の友人を作るチャンスだと思っています。そして、その友人たちに日本についてもっと知ってもらいたいと思っています。日本には美



しい四季があり、歴史や独特の礼儀作法「おもてなし」の文化があります。日本を知っていただくこと、注目してもらって

私に派遣させていただいた場所で、努力しもっと自分を成長させて帰ってきたいと思っています。そして、私は、将来できれば英語や海外生活の経験を生かした職業に就きたいと思っています。日本と外国の懸け橋になればと思っています。精いっぱい頑張ります。このたびは、派遣候補生に選んでいただき本当にありがとうございます。

10月31日(木)例会の案内

R財団月間卓話

「R財団未来の夢計画」について

地区R財団資金推進委員長

小林 正人さん

広報委員会

- 小澤 幸男・青木 靖高
- 飯田 昭夫・杉浦 令淑

*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。